

【資料4】  
令和6年11月1日  
岡山市児童福祉審議会  
第2回母子保健専門分科会

# 発達障害者支援センターの 発達支援業務について



岡山市発達障害者支援センター（愛称：ひか☆りんく）は  
平成23年11月18日に岡山市**直営**の**発達障害者支援センター**として  
岡山市勤労者福祉センター1階に開所

## ◇スタッフ

正規職員7名、会計年度任用職員10名で運営

## ◇職種

児童精神科医師、保健師、保育士、心理士、教員、事務



# ひか★りんくについて —事業内容—

## 相談支援

日常生活に関わるさまざまなご相談をお受けし、情報提供やアドバイス等をします。

## 発達支援

乳幼児期のお子さんの発達や子育てに不安のあるご家族へ具体的な関わり等について一緒に考えていきます。

## 就労支援

就労又は就労に向けた支援を、関係機関と連携を図りながら行います。

## 機関連携

教育、福祉、保健、労働、医療機関等と連携したり、ご本人やご家族を支える関係機関への支援をします。

## 普及啓発・研修

発達障害への理解を深めるため、講演会やセミナー等の啓発活動や関係機関への研修を行います。

# ライフステージに応じた支援 (R6)

幼児期

就学前

学童期

青年期

成人期・高齢期

## 個別相談（発達相談・就労相談）支援

相談・支援

ぽかぽか広場

育ちの相談

就学前訪問支援

にこにこ教室

特別支援学校  
コンサルテーション

りんく（居場所）  
B型ステップ  
ボランティア活動  
ストレッチ講座

普及啓発・研修

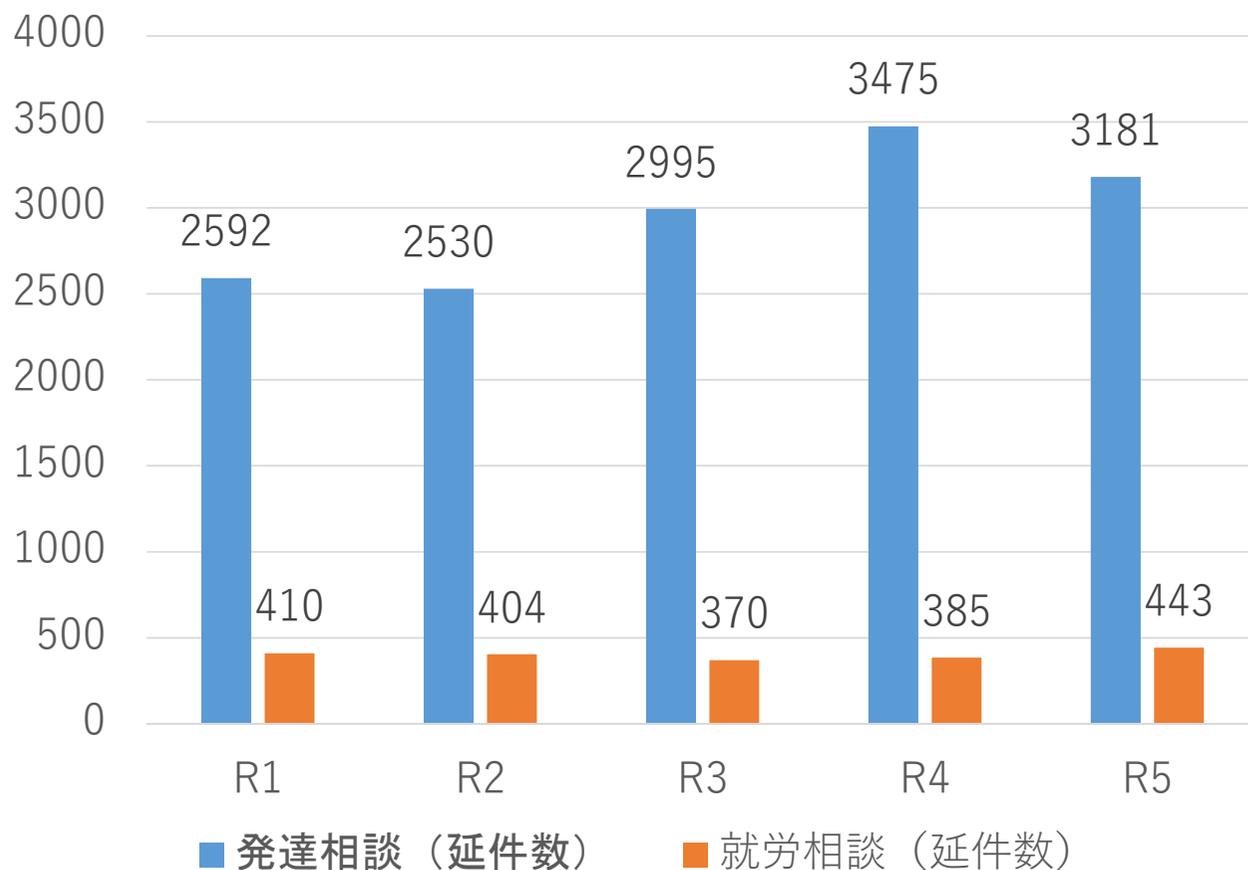
保・こども園・幼、学校向け  
ひかりんぱっく研修

就労支援（企業向け）セミナー  
事業所向け ひかりんぱっく研修

- ・市民講座
- ・教職員向け研修
- ・困難ケースへのコンサルテーション
- ・発達障害基礎講座
- ・保健師、保育士向け研修（OHOGO研修）
- ・関係機関への研修
- ・支援者のための連続講座
- ・調整会議

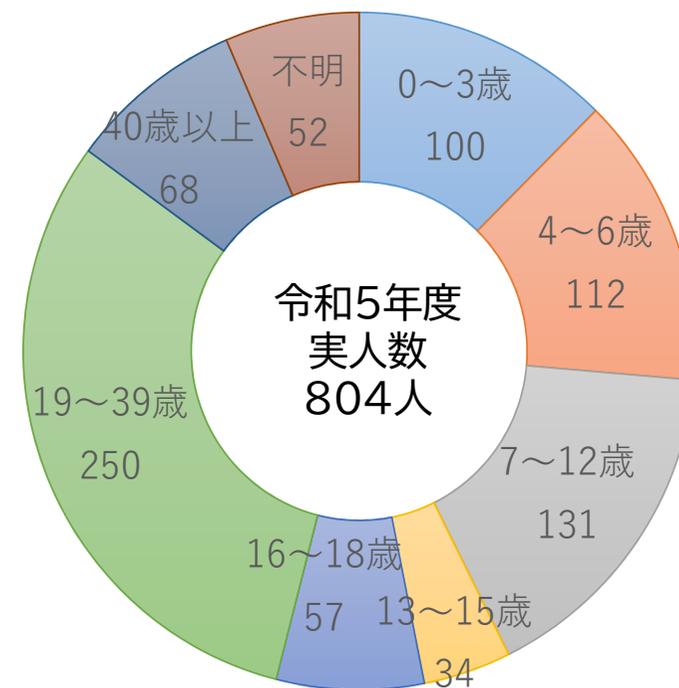
# 相談支援状況

## 相談支援数（延）



6歳以下の相談は26%  
18歳以下の相談は54%

## 発達相談 支援数（実）



# < 発達支援 >

## ・ 発達に関する個別の相談

	発達相談	育ちの相談
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 発達の遅れや障害特性について、本人や家族が抱える悩みの相談に応じ、困りごとの解決を図る</li><li>・ 医療機関や相談機関等の必要な情報を提供し、早期支援につなげる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 子育てや子どもの発達に関する保護者の悩みに寄り添いながら、適切な関わり方を保護者とともに考え、不安の解消を図る</li><li>・ 適切な相談機関につなげる</li></ul>
対象	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 年齢制限なし</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 幼児期（概ね<b>1～3歳</b>）の児</li></ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 相談希望者はひか☆りんくへ直接電話する</li><li>・ 電話で相談後、必要に応じてひか☆りんくで面接し、適切な支援を行う</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 相談希望者は利用している児童館スタッフに申し込みをする</li><li>・ <b>岡山市ふれあい児童館にひか☆りんく職員が訪問し、保護者からの相談に応じる</b></li></ul>
R5実績	実人数 804人、相談延件数 3181件	6件

# < 発達支援 >

## ・ 初診前待機、虐待予防、所属のない児の支援

	CAREパッケージぽかぽか	ぽかぽか広場
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達に不安を抱える保護者と子どものために、虐待予防の視点から親子の絆を強めるかわりのためのプログラム「<b>CARE</b>」を実施</li> <li>・ 保護者の相談に応じるとともに、子どもの発達について保護者の気づきや理解が得られるように適切な助言を行う(養育支援)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの発達に不安を抱える保護者と子どものための<b>居場所を提供</b></li> <li>・ 初診までの保護者の不安を軽減</li> </ul>
対象	概ね <b>2～3歳</b> の未就園児、未診断	概ね <b>2～3歳</b> の未就園児、未診断
内容	<b>個別相談「CARE」</b>	<b>小集団での親子遊び</b> 、自由遊び、保護者グループワーク、個別相談等
R5実績	市内5会場で実施：14回、延べ26組	市内5会場で実施：55回、延べ215組 児童発達支援センター機能強化事業で2か所実施 まな星広場、いちご広場



# < 発達支援 >

## ・ 初診前待機、医療につながっていない児の支援

	就学前訪問支援事業	にこにこ教室
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の中で発達が気になる児への関わり方について保護者と共に考え助言することにより、園や家庭で適切な対応ができるようになる</li> <li>就学に関する情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小集団でのプレ授業体験や保護者同士の座談会での学びを通して、児と保護者が安心して就学への準備ができるようになる</li> </ul>
対象	4・5歳児、未診断の園児 (保護者の同意が必要)	4・5歳児、未療育(診断の有無は問わない) ひか☆りんくフォローケース
内容	園を訪問し、保護者、園の職員と共に対象児の行動を観察、支援方法を考える。 情報提供、個別相談、専門機関へつなぐ	勉強会、保護者のグループワーク、 学校の教室場面を再現(プレ授業)、 保護者に子どもの特性に応じた関わり方を指導
R5実績	17件	勉強会1回、8人 教室3回、5組



# < 普及啓発・研修 >



- 発達障害への理解を深める
- 支援者のスキルアップ・底上げを目指す

	市民講座 就労支援セミナー	発達障害基礎講座	支援者のための 連続講座	保健師・保育士向け OHOGO研修	教職員向け 研修
目的	発達障害者の社会参加と自立促進、理解や支援の普及啓発	発達障害の基礎知識や支援のあり方等について学ぶ	発達障害についての理解を深め、支援のモチベーションを高める	岡山市の幼児期の発達障害の支援システムの共有、支援スキル向上	教育現場への支援の一環として実施
対象	市民	市民	支援者	保健師、保育士等	小中学校教職員
R5内容	発達障害のある人のコミュニケーションを再考する	発達障害について最初に知っておいてほしいこと	支援者がコミュニケーションについて考える (Zoom)	乳幼児期の早期支援 (Zoom)	特別支援において必要なこと
R5実績	1回 193人	1回 64人	4回 750人	3回 372人	1回 67人

# < 普及啓発・研修 >

## ・ 発達障害に関する研修会の講師

対象	回数	人数
施設職員（強度行動障害支援等）	6	433
警察官（警察学校、県警本部）	5	380
教育関係者、保護者	6	318
市役所職員（新人、福祉事務所）	3	217
保育士（認可外、会計年度等）	3	90
地域子育て支援事業実施施設職員	1	35
特別支援教育・障害児保育従事者	1	120
医師・コメディカル	1	121
放課後児童クラブ職員	1	98
一般市民	1	35

令和5年度実績 計28回 1847人

例えば・・・  
「発達障害の理解と支援」  
「発達障害とトラウマ」  
「強度行動障害の理解と支援」等を  
テーマに研修をしています。

# <訪問型研修>

## 保育園・こども園・幼稚園、学校 ひかりんぱっく研修

### 研修対象・目的・特徴について

対象：学校・保育園・こども園・幼稚園の先生

目的：・発達障害についての知識・理解

- ・事例検討の仕組み作り
- ・現場の支援力の向上
- ・チームワーク力の向上

特徴：・学校園に訪問し実際の子どもの姿、クラス的环境を観察させていただく**訪問型研修**  
・現場の先生方が実際にグループワークに参加しながら進めていく**実践型研修**

#### 現場の支援力

- ・先生方のみで事例検討を実施
- ・事例検討を積み重ねていく

#### チームワーク組織力

- ・知識の共有
- ・意見を出し合い学び合う
- ・支援の方針の共通理解

### 現場での積み重ね

#### ③事例検討

#### ②事例検討

#### ①講義

事例検討の仕組み作り

発達障害についての知識・理解

#### グループワーク

- ・行動観察し客観的に**見立てる力**
- ・見立てに沿って関わり方や指導方法を工夫する**支援力**

R5実績	保育園 こども園 幼稚園	小学校 中学校
実施回数	29	17
参加校数	15	8

# 発達障害専門医療機関等養成研修事業



地域の拠点となる医療機関  
(高度な専門性)

実地研修  
診察への陪席  
など

今後、発達障害の診療を行うことが  
期待される精神科・小児科の医療機関



※医療機関によっては、かかりつけ医等発達障害対応力向上研修も併せて受講

<発達障害専門医療機関等養成研修事業>  
発達障害の診断可能な医療機関の拡充を図る  
R5 実績 受講者数 16人(9医療機関)  
陪席研修 延26回



## 岡山市内の医療機関・診療科

単位:機関

	計					
		内科	小児科	精神科	心療内科	神経内科
医療機関数	447	382	153	69	53	30
発達障害の診療をする医療機関数	45	21	14	39	31	9

おかやま医療情報ネット(医療機関の申告により構成されている公表データ)から抽出  
医療機関により診療科の重複あり  
令和6年2月現在

### (参考) かかりつけ医等発達障害対応力向上研修

発達障害の早期発見・早期支援の重要性に鑑み、発達障害児者が日頃より受診する診療所の主治医等に対して、発達障害に関する国の研修の内容を踏まえた研修を実施し、どの地域においても一定水準の発達障害への対応を可能とすることを目的とする研修。

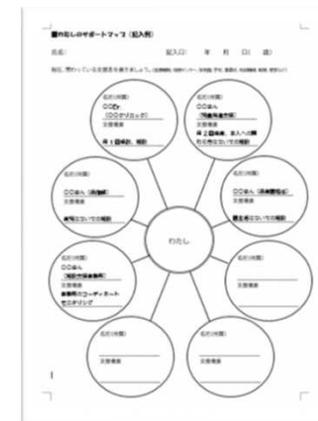
岡山市では令和元年度から実施。医師のほか看護師・心理士等の受講がある。令和5年度の医師修了者数は46名。

# 相談支援ファイル『りんくる』

- 発達が気になるお子さんとその保護者が幼児期から成人期まで**一貫したサポート**を受けるために、支援者や関係者と一緒に作っていくファイルです
- 成人の方で、障害福祉サービスを受けたり、仕事や生活面での困りごとの相談をしたりするときなどにも役立ちます

## ○改訂（R2年7月）のポイント

- 継続的な支援に向けて活用できる
- 記入の負担を軽減
- 当事者の方が主体的に活用できる
- どの年代からでも利用可能に
- 障害程度によらないファイルに
- 災害時などにも対応したものに



※様式は市ホームページよりダウンロードできます